

# 春 秋 会



幹事長 須藤 晃伸

## 春秋会の歴史

春秋会は、大正13年（1924年）に創設されて以来、93年の歴史を有します。会名の由来は、春には弁理士会役員選挙のために集まり、秋には弁理士試験合格祝賀会のために集まるから、というものです。当初は、旧制東京高等工業学校（現東京工業大学）の出身者が中心となっていました。現在は出身校や専門分野に関わらず多数の会員が所属しており、850名超の会員を擁しています。

また、昭和48年（1973年）には東海春秋会が設立されました。東海春秋会は、本会の幹事会と別に幹事会を有し、東海地区において独自に活発な活動を行っております。

そして、春秋会は創設以来、日本弁理士会を支えるべく、会長、副会長をはじめとする役員を多数輩出し、委員会や附属機関の委員も多数推薦してきました。今年度は、役員として、副会長1名、執行理事2名、監事1名、常議員8名が活躍しています。

また、各種委員会、並びに附属機関の委員長及び委員等を多数輩出しています。さらに、関東支部、東海支部、日本弁理士協同組合、日本弁理士政治連盟等においても、多数の会員が活躍しております。特に、東海春秋会は、東海支部の運営を支える重要な役割を果たしています。

## 春秋会の組織

### 1) 総会

総会は最高意思決定機関であり、年に2回の定時総会と、必要に応じて開催される臨時総会とがあります。総会では、事業計画、予算及び決算の承認、重要人事、会則の改廃等に関する議案の審議及び決議を行います。

### 2) 幹事会

幹事会は、会務の執行機関であり、幹事長が春秋会を代表します。年度は1月から12月までであり、今年度は、幹事長1名、副幹事長5名、幹事11名、顧問1名の計18名で構成されています。会合は月1回の開催で、時間の多くは各種行事の企画や準備に割かれます。また、総会に提出する議案（事業計画、予算、決算、人事等）も重要な審議事項です。会合終了後は毎回懇親会を開催し、食事をしながら仕事の話や遊びの話を大いに語り合って結束力を高めています。

### 3) 相談役会

相談役会は、会務の運営その他重要な事項について、幹事長の諮問に応ずる機関であり、幹事長経験者、日本弁理士会会長、副会長、及び各支部長の経験者で構成されています。相談役会には定例会はなく、幹事長が必要に応じて召集し、重要な人事や政策についてご意見を伺います。

### 4) 委員会

春秋会は、人事、協議（選挙対策）、政策、研修、広報及び規約の6つの委員会を常設委員会として設置しており、必要に応じて特設委員会を設置します。今年度は、今後数年に亘る人事計画を審議する特設委員会として、総合検討委員会設置しました。

## 春秋会の委員会

### 1) 人事委員会（辻田 幸史 委員長）

人事委員会は、例年、日本弁理士会（関東支部含む）の役員、委員会委員および春秋会幹事長といった重要人事について、幹事長の諮問を受けて、適切な人材配置を検討します。また、幹事長が随時受ける推薦依頼につき、必要に応じて候補者選定の助言を行います。今年度は総合検討委員会と連携して、重要

人事の審議を行っています。

## 2) 協議委員会 (平山 淳 委員長)

協議委員会は、日本弁理士会役員の選出について他会派と協議を行うと共に、選挙対策について検討します。選挙期間中は、選挙対策委員会として、選挙運動の司令塔になります。

## 3) 政策委員会 (榛葉 貴宏 委員長)

政策委員会は、日本弁理士会や日本弁理士クラブからの意見聴取依頼に対応して各種政策について検討を行い、答申、提言等を行います。また、必要に応じて、日本弁理士会の政策について春秋会で独自に検討し、意見を発信します。今年度は、昨年度の会長選挙で配布された候補者パンフレットの分析も行っています。

## 4) 研修委員会 (藤村 明彦 委員長)

研修委員会は、会員に向けた研修の企画及び実施を行います。昨今は、前年度に作成した研修計画に沿って継続研修を実施することが多く、名古屋と東京をTV会議システムで繋いだ研修会を実行しています。

## 5) 広報委員会 (齋藤 学 委員長)

広報委員会は、年に2回の会報「春秋」の発行及び春秋会ホームページの運営を担当します。選挙用のパンフレット及びホームページの作成も担当しています。今年度はHP部会を立ち上げ、ホームページの刷新作業も行っています。

## 6) 規約委員会 (岩壁 冬樹 委員長)

規約委員会は、春秋会会則や細則の改正が必要になった場合に、幹事長の諮問に応じて具体的な規定ぶりについて検討します。また、日本弁理士クラブ規約の改正の際等にもその内容について検討します。

## 春秋会の同好会

春秋会には、会員の親睦を図るための同好会があり、積極的な活動を行っています。同好会としては、野球部、テニス部、ゴルフ部、スキー部、ボウリング部、春秋ダイバーズ、オートバイ同好会、麻雀部、句会、カメラ部、レーシングカート同好会、フットサル同好会と、ミライノシゴトを考える春秋女子同好会（通称：春秋女子会）があります。フットサル

同好会と春秋女子会は昨年度設立されたばかりですが、着実に会員数を増やしており、また他会派との交流も盛んです。

## 春秋会の行事

### 1) 叙勲褒章祝賀会兼新年会

年始に開催される、叙勲や褒章を受けられた会員をお祝いするとともに新年を祝う会です。年度切替の新旧幹事顔合わせの場ともなっています。今年度は、2月7日に目黒雅叙園で開催しました。

### 2) 日本弁理士会役員退任慰労・新任激励会

平成28年度で退任された日本弁理士会役員の慰労及び平成29年度から新任された日本弁理士会役員の激励のための会です。今年度は4月6日に山の上ホテルで開催しました。

### 3) 新規登録者祝賀会

実務修習制度の導入以降、弁理士試験の合格に加え新規登録をお祝いすべく、例年開催しています。今年度は、6月2日に東海大学交友会館で開催しました。

### 4) 旅行会

例年、夏期に親睦のための旅行会（1泊2日）を開催しています。今年度は、7月22日～23日に修善寺の宙SORA渡月荘金龍に行きました。また、宿泊ホテルにおいて、「弁理士業界の課題とこれから」をテーマにパネルディスカッションを開催しました。2日目は、葦山反射炉やベアードブルワリーガーデン等を見学する観光コースと、伊豆大仁カントリークラブでプレイするゴルフコースに分かれて楽しみました。

### 5) 交流会

若手会員との親睦を図る行事として、例年、夏に開催しています。この行事は、会員のみならずその家族、友人、同僚等も参加可能な家族系行事です。今年度は、8月26日に、お台場のデジキューBBQ CAFEでBBQを開催しました。

### 6) 口述練習会

例年、本試と同じ会場で開催しており、受験生から好評を得ています。今年度は、10月13日にザ・プリンスパークタワー東京で開催すべく準備を進めて

います。

#### 7) 日本弁理士会役員当選祝賀会

晴れて日本弁理士会役員選挙に当選された会員をお祝いする会です。今年度は、10月20日に第一ホテル東京で開催の予定です。

#### 8) 弁理士試験合格祝賀会

弁理士試験合格者をお祝いする会です。別途新規登録者祝賀会も行いますので、合格祝賀会は華美にせず、低予算で工夫を凝らした会としています。今

年度は、11月下旬～12月上旬に開催する予定です。また、合格祝賀会と併せて就職懇談会を行う予定です。

#### おわりに

春秋会は、日本弁理士会の健全な発展に寄与すべく、日本弁理士クラブの他会派様と協力しながら、人材輩出や政策提言などにおいて尽力してまいります。これからも春秋会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

# 稲門弁理士クラブ



稲門弁理士クラブ幹事長 大西 達夫

## 1. 稲門弁理士クラブとは

稲門弁理士クラブは、早稲田大学（大学院）出身の弁理士の集まりです。弁理士八会派の中では唯一、現在でも出身大学による純血主義を保っている会派です。当クラブには、弁理士の仕事に携わる者同士で研鑽し合い、また親睦を深める親睦団体としての側面と、日本弁理士クラブの構成会派としての側面があり、約200名の会員が所属しています。

また、稲門弁理士クラブは早稲田大学卒業生が各地域、職域で構成するいわゆる「稲門会」の一つで、早稲田大学に登録された職域稲門会の一つです。他に、稲門特許会という団体もありますが、こちらは同じ早稲田出身の弁理士でも、当クラブ会員以外の先生方が所属する組織になります。

当クラブでは、6年ほど前に稲門弁理士クラブメール会員という制度を創設しました。メール会員は、弁理士試験に合格したばかりの未登録者やまだ会派に所属することを迷っている方など、若手向けの準会員制度になります。

稲門弁理士クラブは、日弁の構成会派の一つとして、日本弁理士会に会長・副会長・常議員・執理事務・監事といった役員、附属機関の役職者、特許・意匠・商標等の実務系委員会を含む各種委員会委員などの人材を送り出しています。日本弁理士会の活動に積極的に関わりたい弁理士の方は、早稲田出身者であれば、当クラブに所属するのが早道です。

なお、一昨年の規約改定により、早稲田大学の教職員及び教職員であった者も、入会資格を有することになりました。学生・時代が他大学であっても、この資格要件に当てはまるという方は、ぜひ当クラブへの参加を前向きにご検討ください。

## 2. 稲門弁理士クラブの組織

当クラブでは、幹事会が唯一の審議決定機関となっており、総会はありません。会派としての意思決定が必要な場合に、幹事会を年5、6回程度開催しています。

幹事会は以下の各部会に分かれて活動しており、各部会には責任者である担当副幹事長を置いています。

①人事委員会、②渉外委員会、③日本弁理士会役員選挙のための協議・選対委員会、④会員情報管理委員会、⑤研修委員会、⑥親睦委員会、⑦祝賀会委員会、⑧政策委員会、⑨会計委員会、⑩広報委員会、⑪訃報・弔電委員会、⑫日弁会報・稲門会費請求書等の郵送事務

稲門弁理士クラブは、早稲田出身の同窓だけの会派で比較的少人数であるため、年齢の若い方や最近弁理士試験に合格したばかりの、いわゆる若手であっても、手を上げれば稲門弁理士クラブ内だけでなく、日本弁理士会や日弁等の重要な役職を任せられます。そして、日本弁理士会の附属機関・委員会へ、おおむね希望どおりに推薦されます。さらに、人材育成の観点から、意欲のある方には、日本弁理士会の正副委員長や日弁の役職等にも就いてもらうようにしています。同窓会を兼ねていても、上下関係は厳しくなく、またいざという時の団結力が高いのも当クラブの特徴です。

稲門弁理士クラブには、職域における稲門同窓会という側面もあるため、この10年間はそれほど熱心に勧誘をしなくても、毎年数名の方に入会していただけた状況でした。しかし、弁理士試験の受験者及び合格者数の減少により、同窓の新規会員獲得が難

しくなりつつあります。会員の増強対策については、今後の課題として考えています。

### 3. 稲門弁理士クラブの具体的な活動

#### (1) 弁理士試験合格者祝賀会

例年、早稲田大学（大学院）出身の弁理士試験合格者をお祝いするために、12月上旬頃、当クラブと稲門特許会の共催で、合格者祝賀会を母校大隈会館又はリーガロイヤルホテル東京で開催しています。合格者は無料ご招待とし、その他の方は会費制を採っています。弁理士試験に合格された早稲田大学（大学院）出身の方はもちろんのこと、当クラブ会員以外の早稲田大学（大学院）出身の弁理士の方も、稲門特許会会員としてこの祝賀会に参加することができますので、ぜひお越しください。

#### (2) 役員当選祝賀会

例年、日本弁理士会の役員選挙開票日に、無名会と合同で役員当選祝賀会を開催しています。今年度も、10月20日に浜松町の東京會館において、副会長、常議員及び監事候補者の当選祝賀会を開催しました。

#### (3) 研修会

年2、3回のペースで、当クラブ主催の研修会を開催しています。

本年度は5月9日に、前知的財産高等裁判所所長・弁護士の設楽隆一先生を講師としてお招きし、「知的財産訴訟の最新動向」と題して、均等論、延長登録特許権の効力、FRAND宣言をした標準技術特許権の行使の判例解説を中心とした貴重な御講演をいただきました。また、11月9日には、当クラブ会員の小林和人弁理士を講師として迎え、企業における知財業務の動向をテーマとする研修会を開催する予定です。

#### (4) 口述練習会

例年、早稲田大学（大学院）出身又は在学中の弁理士試験受験生を対象とし、口述試験の1～2週間ほど前に、無料で口述練習会を開催しています。口述練習会は早稲田大学出身の受験生を応援するとともに、将来の入会候補者とコンタクトを取る場にもなっています。口述練習会に参加していただいた合格者の方には、弁理士試験合格祝賀会や研修会の案

内を送るようにしています。試験官役や問題の作成は最近の合格者をお願いしていますが、当クラブの正会員だけでなく、稲門弁理士クラブメール会員にも声をかけています。

#### (5) 旅行会

昨年（群馬県四万温泉、たくみの里、谷川岳）、一昨年（長野県蓼科）、3年前（韓国・ソウルにて裁判所見学や法律事務所への訪問、非武装中立地帯の見学）と旅行会を開催しました。いずれの旅行会にも、無名会の先生方にご参加いただきました。

#### (6) 同好会

現在、ボウリング同好会、ダイビング同好会、スキー同好会、テニス同好会、釣り同好会、ゴルフ同好会があります。

日弁のボウリング大会にも、稲門弁理士クラブチームとして出場しています。同好会活動は少人数であるがゆえにそれほど活発とはいえませんが、他方で各自の希望が通りやすい状況にあります。今後、新人勧誘とともに、同好会活動もできるだけ活性化していきたいと思います。

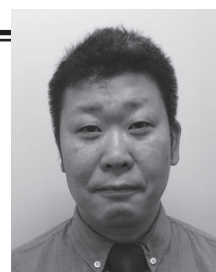
### 4. 最後に

事務所の勤務弁理士や企業内弁理士の増加を受けて、日本弁理士会の会務活動や会派活動の重要性を認識してもらうのが次第に難しくなる傾向にあります。しかし、会派や会務の活動に参加し、色々な立場の弁理士と交流することは、職能団体としての日本弁理士会の意思決定の在り方、弁理士業界における自らの立ち位置等の的確な理解につながり、日常の業務にも有形無形の好ましい影響を与えてくれることは確かです。

学生・社会人時代を通じて、早稲田大学(大学院)出身者ということであれば、同じ稲門の下をくぐった仲間として、当クラブへの参加を歓迎いたします。ぜひ会派や日本弁理士会の会務にも、積極的にご参加ください。

以上

# 南甲弁理士クラブ



幹事長 林 剛 史

## <特色>

南甲弁理士クラブは、昭和3年6月に創立され、平成30年に創立90周年を迎えます。現在の会員数は約430名です。創立は、中央大学出身の先輩方によってなされておりますが、現在は、出身大学等に関係なく、当クラブの活動にご賛同頂ける先生方に広く門を開いており、経験豊富な先輩方と、熱意ある後輩が協力し合い、当クラブの活動の垣根を越えて広く日本弁理士会の会務等で活躍しております。

「南甲」という名称は、中央大学の旧校舎（駿河台校舎）が東京府神田区南甲賀町に所在していたことに因んでおります。

会則には「会員相互の親睦を深め、意図の統一につとめ、日本弁理士会の活動を円滑にすると共に、弁理士業務の進歩拡充を図ることを目的とする」との定めがあります。この目的を達成すべく、様々なイベントを通じて会員相互の交流が図られております。

会員は、毎年恒例の旅行会・納涼会等に積極的に参加するのは勿論のこと、様々な会合等を通じて、先輩後輩の垣根なく交流を深め、昼夜問わず、日々弁理士の将来について議論を重ねております。

このように、当クラブは、様々な親睦活動を通じて世代を超えた団結力を養い、日本弁理士クラブの一会派として日本弁理士会を支えていくことを活動方針としております。

## <組織>

当クラブは、総会を最高意思決定機関とし、運営にあたる幹事会、意見聴取機関としての顧問会、独立して会計監査を行う会計監査委員会によって構成されております。本年度の幹事会は、幹事長、河野

生吾筆頭副幹事長を始め、6名の副幹事長、13名の幹事の計21名で構成されております。幹事会には、親睦・研修・普及・情報・広報・人事・政策・協議の8部会と、東海支部がございます。主な部会と東海支部の活動は以下の通りです。

## <親睦部会>

松田次郎部会長をはじめとする親睦部会は、会員間の親睦を深めるイベントとして旅行会・納涼会・忘年会を企画・開催しております。本年度は、5月27日（土）～5月28日（日）に、旅行会（岡山県の鷺羽山温泉）を盛大に開催致しました。7月22日（土）には、納涼会（東京湾クルージング）を開催し、会員の家族を交えた親睦を図りました。忘年会は、12月1日（金）に開催する予定です。親睦部会は、「遊びの南甲」としての役割を担っております。

## <研修部会>

赤堀孝部会長をはじめとする研修部会は、会員にとって有益な様々な研修会と、日本弁理士会での活動を会員にフィードバックする例会を企画・開催しております。

本年度は計3回の研修会を予定しております。研修会は、会員以外の先生方の受講も可能としており、毎回多くの先生方に受講頂き、内容的な好評も得ております。特に、当クラブは「認定外部機関」の一つですので、当クラブの研修会への参加により単位取得が可能です。各研修会は、日本弁理士会のテレビ会議システムを利用して東海支部へ同時中継しております。研修部会は、「学びの南甲」としての役割を担っております。

### <普及部会>

伊丹壯一郎部会長をはじめとする普及部会は、弁理士試験受験者・合格者を対象とする普及活動を行っております。本年度は、5月16日（火）に、飯田橋メトロポリタンエドモントにて、実務修習を終了して弁理士登録が可能になった新人を対象に、登録祝賀パーティーを開催致しました。また、例年と同様に、本年度も、口述試験受験生を対象とした口述練習会、弁理士試験合格者を対象とした合格祝賀会を開催する予定です。

### <情報部会>

楠和也部会長をはじめとする情報部会は、当クラブのホームページの維持・メンテナンスや、幹事会・顧問会・会員のメーリングリストの管理を行っております。ホームページは、当クラブの情報をタイムリーにクラブ内外に発信する重要な役割を担っており、会員メーリングリストは、会員へのタイムリーな情報を提供する重要なツールとなっております。また、近い将来？におけるホームページの大幅リニューアルを目指しております。

### <広報部会>

林裕己部会長をはじめとする広報部会は、年一回の会報「南甲」と、年数回の「南甲新聞」を発行し、当クラブの活動状況を詳細に報告しております。特に、「南甲新聞」には、当クラブのイベントの開催状況がそのままに掲載されることも多々あり、毎回、読み応え十分な内容です。なお、近年は、家にも持ち帰ることができる「南甲新聞」となっております。

### <東海支部>

東海支部は、川口光男支部長、藤居俊介東海支部代表幹事をはじめとする東海支部幹事会により、東海地区に密着したきめ細やかな支部活動を行っております。

現在、100名を超えるメンバーで構成されており、東海地区における幹事会をはじめとし、普及・親睦・研修活動を行っております。ゴルフ好き、ワイン好きな会員が多いことも東海支部の特徴の1つで

す。

また、日本弁理士会東海支部へ毎年多数の役員を送り出し、日本弁理士会東海支部の運営に積極的に貢献しております。

### <レクリエーション部>

有志によるレクリエーション部は、野球部・ゴルフ部・テニス部・ボウリング部・フットサル部があります。ダブル「ユタカ」会員（近藤<sup>ユタカ</sup>豊監督、須藤<sup>ユタカ</sup>浩部長）をはじめとする野球部は、本年度、マネージャーの獲得に成功し、パテント杯での悲願の優勝？3回戦進出？を目指して、練習試合や、飲み会を中心とした反省会を継続的に行っております。津田理部長をはじめとするゴルフ部は、有志の会員を中心に、日々自主練習に励んでおります。瀧野文雄部長をはじめとするテニス部・上田侑士部長をはじめとするボウリング部は、日本弁理士クラブ主催の大会にチームとして参加しております。新井伸太郎部長をはじめとするフットサル部は、若手を中心として練習会や試合などの活動を行っております。また、日弁マラソン大会に向けて、自主トレに励んでいる会員もいるようです。

### <おわりに>

本年度、当クラブのスローガンを「さらなる団結」として活動しております。本スローガンは、400名を超える当クラブの会員が、「団結」を超える「団結」によって、当クラブの活動のみならず、日本弁理士会の活動等がより実り多きものとなるよう、しっかりとサポートすることを意味しております。

日本弁理士クラブも本年度、創立70周年を迎えました。南甲弁理士クラブは、日弁他会派と連携・協力を図り、日本弁理士クラブや、日本弁理士会をサポートする組織として更なる発展を目指していく所存です。今後とも、南甲弁理士クラブをどうぞよろしくお願い申し上げます。

---

---

# P A 会

幹事長 高橋雅和

P A会は大正11年（1922年）に創設され、95年の歴史のある会派です。P A会という名は、Patent Attorneyの頭文字からきています。現在では、1000名を超える会員を擁しております。

P A会には、幅広く知的財産全般に精通した会員が多くいることはもちろん、国際的にも活躍を期待されている人材が多いことも特徴です。深い内容の研修が豊富なことも特徴であり、海外から専門家を招いて英語による研修も開催しています。

このように、P A会は、選挙母体であることに加え、会員相互の親睦、研鑽を図る同好の志の集まりであり、日本弁理士会の役員、委員会に多くの会員を推薦し、役員会、委員会活動等を通じて日本弁理士会の運営に協力する団体であります。特に今年は、渡邊敬介日本弁理士会会長を輩出して、弁理士会の発展に尽力しております。このようにP A会は、色々な役割を持ちながら、そのための内部組織を有し、各種活動をしています。

## P A会の組織

P A会には、第1条から第10条までからなる会則があり、その会則に、役員、総会、幹事会等が定められています。これらの規定に基づきP A会が運営されています。

### 1) 幹事会

幹事会は、幹事長、幹事長代行、副幹事長、幹事相談役、常任幹事、作業部会幹事等から構成され、P A会の運営にあたっています。幹事会は、ほぼ毎月1回、定例会を開催し、各種事項につき活発な議論・審議を行っています。また、緊急の事項につきましては、幹事会メーリングリストを用いて審議しております。

### 2) 総会

総会は、年に1回開催され、必要であれば臨時総会が行われます。総会では、年度予算・決算の承認等についての決定が行われます。

### 3) P A会東海支部

昨年までは中部部会として構成されておりましたが、その重要性や役割が検討された結果、今年からP A東海支部として活動することになりました。支部長には小島清路先生が就任されております。

### 4) 作業部会

P A会の実際の運営に大きく寄与するのが作業部会です。

#### ① 組織1部会

鈴木昇幹事を中心に、東京で2回の口述練習会を開催します。

#### ② 組織2部会

浜井英礼幹事を中心に、本年度は、新春餅つき大会、野球観戦会、パーベキュー大会等を開催しております。P A会組織が大きくなっている中で、企画部会の運営への協力も行っております。

#### ③ 会計部会

伊藤隆治幹事を中心に、寄付金等の依頼および会全体の入出金を管理しております。

#### ④ 会報部会

篠田卓宏幹事のもと、会報「P A」の編集および発行を行っています。

#### ⑤ 研修部会

帯包浩司幹事のもと、新人研修、一般研修、商標研修、国際研修の4部門に分けて立案し、実行しています。研修には大変力を入れており、今年は年10



回程度の研修を見込んでおります。

⑥ 企画1部会

小野暁子幹事を中心に、忘年会・総会を企画し、実行します。

⑦ 企画2部会

谷崎正剛幹事を中心に、叙勲等の祝賀会、旅行会を企画しております。P A会の旅行会は、お子さん連れのご家族で参加される方も多く、とってもアットホームな雰囲気旅行会です。

⑧ 企画3部会

吉田みさこ幹事を中心に、企画1部会および企画2部会以外のイベントを企画・実行する部会となっております。

⑨ 企画4部会

岩見晶啓幹事を中心に、ランニングイベント対応などを行っております。

⑩ 政策部会

中尾直樹幹事を中心に、定期的に政策を検討し、日弁等に意見の提出を行っております。

⑪ 人事部会

堀籠佳典幹事を中心に、P A会会員の希望等を勘案して、日本弁理士会や日本弁理士クラブ等へ、委員等の推薦を行っております。

⑫ 庶務1部会

伊吹欽也幹事を中心に、主として毎月開催される幹事会の設営と、議事録の作成等を行っております。

⑬ 庶務2部会

佐藤玲太郎幹事を中心に、P A会会員のデータ管理、会員名簿発行、P A会メーリングリストの管理等を行っております。HPの管理も行っております。

⑭ 庶務3部会

荒木利之幹事を中心に、P A会会員や日本弁理士会会員の慶弔の作業を行っております。

⑮ 協議委員会

杉村憲司協議委員長のもと、日本弁理士会役員の選出について他会派と協議を行うと共に、選挙の対策について検討を行っております。

**P A会の同好会**

現在、P A会には、下記の11つの同好会があり、いずれも活発に活動しております。て多くの会員が各同好会に所属しており、懇親の場として活用されています。

- 1) ゴルフ同好会
- 2) 麻雀同好会
- 3) テニス同好会
- 4) スキー同好会
- 5) ボウリング同好会
- 6) アウトドア同好会
- 7) 囲碁同好会
- 8) 野球同好会
- 9) フットサル同好会
- 10) 音楽同好会
- 11) ランニング同好会

**おわりに**

P A会は、今後とも、他会派と協調して、日本弁理士会や日本弁理士クラブの活動に協力して参る所存です。日本弁理士クラブ所属の5会派が一致団結してこの日本弁理士クラブを盛り上げて参りましょう。今後とも宜しくお願い致します。

# 無 名 会



幹事長 鶴 目 朋 之

## 1. 無名会について

無名会は、旧弁理士法が施行された年と同じ大正11年に創設された非常に歴史ある会派です。

無名会という名前は、老子の言葉「無名天地之始、有名萬物之母」（名無きは天地の初めにして、名有るは万物の母なり。）に由来するといわれています。この名前の由来からは、キャリアや派閥にとらわれることなく、名誉や地位を求めずに、ひたすら知財発展のため、弁理士の資質向上のために尽力してきた創設当時の先輩方の気概を伺い知ることができます。

無名会は規模的には270名程と決して大きくはないものの、創設時の気風は現在でも脈々と受け継がれており、その自由闊達な雰囲気を作り出しています。

## 2. 無名会の組織

無名会では、幹事長と2名の幹事長代行、さらに、若干名の副幹事長、常任幹事、幹事により構成される幹事会が必要に応じて開催されます。また、毎年1回、11月又は12月に最高意思決定機関としての定時総会が開催されます。なお、上記の役員に加え、会計幹事、各委員長、監査役、相談役により無名会の役員が構成されます。

## 3. 無名会の委員会

### (1) 会誌委員会（委員長：亀山 夏樹）

会誌「無名」の編集、発行を担当しています。各種会務報告や活動報告、会員だより、事務所・先輩訪問、新人紹介など、同じ無名会会員の近況を知るのに絶好な情報源となっており、SNSのような速報性はないものの、変わることはない紙媒体として毎年届くのを楽しみにしている会員も多いかと思えます。

### (2) 研修委員会（委員長：林 司）

会員に対する研修を企画・実行します。本年度は、5月10日に「弁理士の世界について～弁理士会、会派、日弁について判り易く説明します～」と題し、弁理士試験合格者向けの新人研修を開催しました。また、7月4日には、「2016年度実務系委員会会務報告会～委員会ってどんなお仕事してるの～」と題した会員向け研修を行いました。今後は、「特許判例研修会による検討報告会」と「応用美術の多面的保護について（「TRIPP TRAPP」幼児用椅子著作権侵害事件）」をテーマとする2つの研修が予定されております。

また、研修委員会とは別に、無名会では会員向けに特許判例研修会（世話役：山本 典弘）が常設されており、2ヶ月に1回の割合で精力的に勉強会が開催されています。本年度は、「タイヤ事件」、「皮膚科学的治療のためのシステムおよび装置事件」、「餅（切り餅）事件」、「摩擦熱変色性筆記具等事件」についての研修会が開催されています。

### (3) 企画委員会（委員長：矢崎 剛平）

無名会で行われる各種行事の企画・実行を担当しています。本年度は、1月17日に新年会が明治記念館にて開催され、4月20日に役員退任慰労・新任激励会が東海大学校友会館にて開催されました。また、毎年若手会員を中心とする「若手懇親会」を行って若手とベテラン会員の交流を図っており、今年は7月21日に開催されました。今後は、主な行事として、日本弁理士会役員選挙当選者祝賀会が10月20日に浜松町東京會館にて、弁理士試験合格者祝賀会が11月21日に六本木アークヒルズにて開催の予定です。

#### (4) 人事委員会（委員長：篠原 淳司）

無名会内の人事、日本弁理士会、関東支部、日本弁理士クラブへの役員及び委員の推薦を主に行っています。また、無名会の会員名簿の管理・発行を任されています。

さらに、日本弁理士会の役員選挙の際は、選挙対策本部として選挙活動の陣頭指揮をとる非常に重要な委員会となります。

#### (5) 政策委員会（委員長：久松 洋輔）

日本弁理士会の政策に関し、無名会としての意見を取り纏め答申する委員会です。本年度は、①処分前公表、②知財経営センター設立、③預かり金の分別管理（ガイドライン作成）、④利益相反について、等についての検討が行われました。

また、無名会における会務の運営・政策に関する諮問事項を検討する役割も有しています。

#### (6) 情報委員会（委員長：竹山 尚治）

ホームページ、メール網の運営・維持・管理のほか、最近ではFacebookなどSNSを活用し、最新の会務報告等の情報発信にも力を入れています。また本年度は、無名会ホームページを一新し、スタイリッシュなデザインが好評のようです。

#### (7) 福利厚生委員会（委員長：村雨 圭介）

主に、年1回の親睦旅行会を企画・実行しています。無名会の旅行会は、例年は秋に行われていますが、本年度は、5月に開催された日本弁理士クラブ主催のゴルフコンペ「パテントマスターズ」に合わせて、5月12日、13日に有馬温泉「有馬御苑」で開催されました。例年、旅行会の2日目は、ゴルフ組と観光組（自由行動）に分かれますが、今年のゴルフ組はパテントマスターズにそのまま参加しました。

また、福利厚生委員会は、会員同士の親睦を図るべく無名会の各同好会への援助も行っています。

### 4. 無名会の同好会

無名会の同好会は、ゴルフ同好会、ワイン同好会、テニス同好会、ボウリング同好会、ジャズの夕べを

楽しむ会、囲碁同好会、麻雀同好会があります。また、2年前に非公認の同好会として始まったランニング同好会は、日本弁理士クラブ主催の駅伝大会の参加や、定期的な皇居ランなどの実績が認められ、晴れて公認の同好会の仲間入りをしました。

ゴルフ同好会は、毎年春に「無名会カップ」を開催しておりますが、本年度は5月に旅行会を行った関係で、半年ほど開催時期をずらして11月11日に栃木県・西那須野カントリーで行う予定です。

ワイン同好会は不定期に開催されており、本年度は7月10日に神保町のイタリアンレストラン「オステリア・ラウロ」にて開催されました。今回は、参加者により持ち込まれたワインの産地を当てるテイスティング対決（仏、伊、米、日から選択）が行われ、常連参加者の中には見事全問正解された方もいらっしゃいました。

テニス同好会は、毎年、日本弁理士クラブ主催と弁理士協同組合主催の2つのテニス大会に参加しています。今年は、1月21日に日本弁理士クラブのテニス大会、4月22日に弁理士協同組合のテニス大会に参加しました。

ボウリング同好会は、毎年、日本弁理士クラブ主催のボウリング大会に参加しています。

ランニング同好会は、11月25日開催予定の日弁りレーマラソン大会に中心メンバーとして参加予定です。

### 5. その他の活動について

上記の定期開催の行事に加え、無名会では、不定期に有志の会員によるアンオフィシャルイベントが開催されています。最近では、6月3日に埼玉県蓮田市にある清龍酒造の見学ツアーが開催されました。名目は蔵元見学ですが、お目当ては利き酒であることは言うまでもありません。また、年に1回程度、アウトドアの企画も行われており、昨年は高尾山に日帰り登山を実施し、お子さん連れで参加した会員もいました。今年も昨年同様、東京近郊での日帰り登山を計画しています。

### 6. 最後に

無名会は、今年で創設から95年を数える非常に歴

史ある会派ですが、そのような由緒正しい組織にありがちな厳格な上下関係やしがらみは良い意味で見られず、誰でも遠慮することなく自分の意見を言える自由な気風が特徴です。

今後も無名会のこのような特徴を生かしつつ、日本弁理士クラブの活動に積極的に関わるとともに、他会派とも協力して、日本弁理士会の発展に貢献する所存です。